

環境調査結果のお知らせ

平成25年8月27日午前9時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温23～27℃、塩分32～33、溶存酸素量5～7mg/lでした。
 透明度は7～12mで、魚類に対して非常に有害なシャットネラ・アンティカが少数確認されました。
 今後の動向に注意してください。

水温と塩分(表1・2)

水温は22.8～27.4℃、塩分は31.7～33.3でした。前回調査時(H25.8.6)と比較して、水温は1～3℃低下、塩分は同程度でした。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は5.3～6.6mg/lで、前回より0～5m層が1～2mg/l低下していました。

プランクトン(表4・5)

透明度は7.1～11.5mでした。
 検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なシャットネラ・アンティカが最高1cell/ml確認されました。
 その他、有害種のケラチウム・フルカが最高1cell/ml、ミリオネクタ・ルブラが最高5cells/ml確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲む等して、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

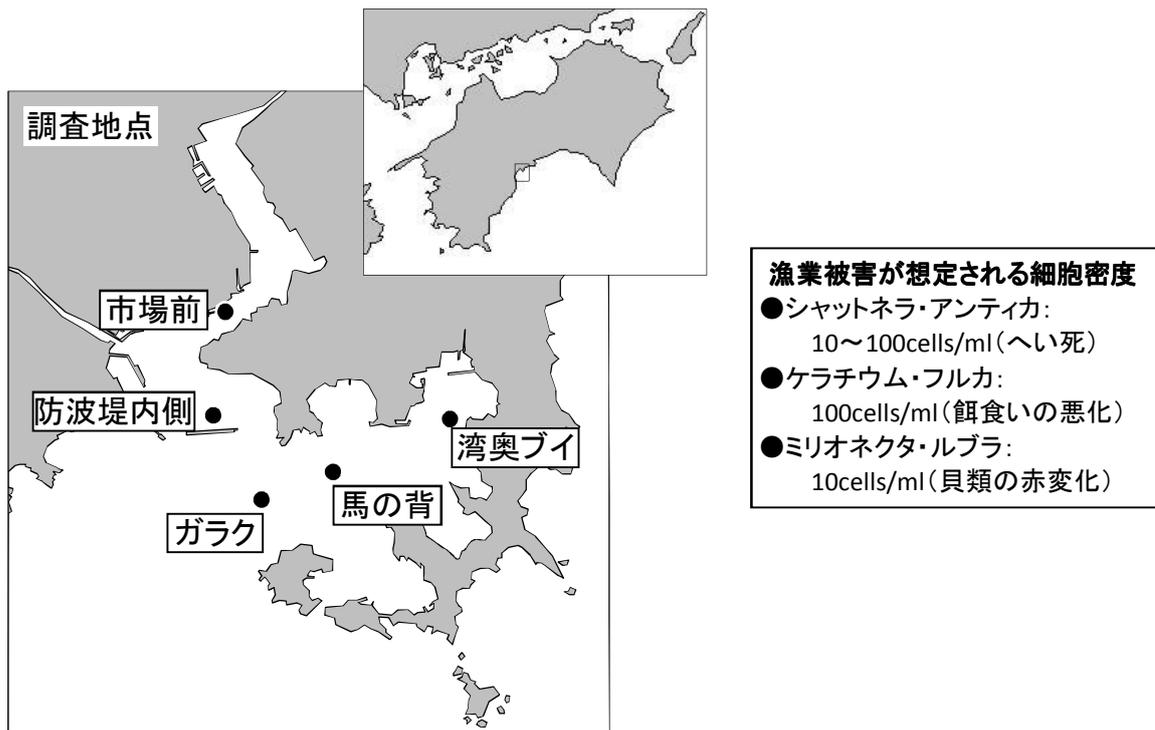


表1 水温(℃)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.8.6)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	27.4	27.1	26.6	26.5	27.0	29.0	▲ 2.0	26.9
2m	27.3	27.0	26.6	27.0	26.9	28.4	▲ 1.4	27.0
5m	26.9	26.7	26.1	26.7	26.5	27.6	▲ 1.1	26.8
10m	26.1	25.9	25.5	25.7	25.8	27.2	▲ 1.4	-
B-1m	23.5	22.8	23.7	23.8	23.3	26.0	▲ 2.7	25.9

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.8.6)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	32.9	32.9	32.7	31.7	32.8	32.6	0.3	30.6
2m	32.9	32.9	32.7	32.5	32.8	32.7	0.2	32.6
5m	32.9	32.9	32.9	33.0	32.9	32.7	0.2	32.9
10m	33.1	33.1	33.1	33.1	33.1	32.8	0.3	-
B-1m	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.0	0.3	33.1

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H25.8.6)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	5.4	5.7	6.2	6.6	5.8	7.5	▲ 1.7	6.1
2m	5.3	5.7	6.1	6.5	5.7	7.4	▲ 1.7	6.2
5m	5.3	5.4	5.6	6.3	5.5	6.3	▲ 0.9	6.2
10m	5.3	5.5	5.5	6.0	5.4	5.7	▲ 0.2	-
B-1m	5.6	5.4	5.9	6.2	5.6	5.4	0.3	5.8

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	17.2	24.7	15.8	17.6	10.4
透明度	7.5	9.2	11.5	7.1	3.8
前回透明度	4.0	3.0	3.4	2.3	2.5

表5 プランクトン(cells/ml)

		シャットネラ・アンティカ	ケラチウム・フルカ	ミリオネクター・ルブラ	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属 (ドミナンス、スピラレ)	プロトベリディニウム属
湾奥ブイ	0m	0	0	3	11	0	1
	2m	0	0	4	7	1	1
	5m	0	0	2	2	6	1
馬の背	0m	0	0	0	0	1	0
	2m	0	0	1	6	4	0
	5m	0	1	2	26	2	0
ガラク	0m	0	0	0	1	2	0
	2m	0	0	0	2	6	0
	5m	0	0	1	4	3	0
津波防波堤内側	0m	1	0	1	5	2	1
	2m	0	0	5	0	1	0
	5m	0	0	0	0	0	0
市場前	0m	0	0	1	4	1	0
	2m	0	1	3	1	1	0
	5m	0	0	0	0	4	0